

答辞

冬の寒さも次第に和らぎ、穏やかな春の兆しを感じられる季節となりました。

本日は、私たちのためにこのような心暖まる卒業式を挙げていただき、誠にありがとうございます。先ほど、校長先生及び在校生代表の方から頂いたあたたかいお言葉を胸に、私たち百三十七名は、今日この高梁高校を卒業します。

私たちは、この高梁高校で過ごした三年間の中で多くのことを学び、経験してきました。

一年次。満開の桜の下、これから始まる高校生活に期待と不安を抱きながら臨んだ入学式。新しい仲間と励まし合いながら登り、校歌を歌った松山城登山。それぞれのクラスが一丸となって創り上げた松籟祭の演劇。何もかもが初めてのことばかりで戸惑いを感じることもありましたが、先生方や先輩方に励ましていただき、仲間と協力しながら充実した一年を過ごすことが出来ました。

二年次。後輩の前に立ち、先輩を支える立場となり、身が引きしまる思いでした。時に仲間とぶつかり合い、時に支え合い、励まし合いながら全力で取り組んだ部活動。熱心にご指導して下さった顧問の先生方、たくさんのことを教えて下さった先輩方、頼りない私たちについてきてくれた後輩たちのおかげで、目標に向かって努力することが出来ました。また、二年次最大のイベントである修学旅行。東京、鎌倉方面へ行き、学校では学ぶことが出来ない多くのことを学び、最高の仲間たちと一生色あせることのない思い出を作ることができました。

そしてあつという間に迎えた三年次。様々な場面でみんなを引っ張る立場になり、特に高校生活最後となった松籟祭を、最高のものにしたいという強い思いを全員が持っていました。特にクラス合唱では、限られた時間の中、個性あふれる最高の合唱になるよう練習に励みました。初めは息が合わず、音が外れてしまうこともありましたが、日に日に歌声が一つになっていき、迎えた本番では、持てる力をすべて発揮しました。歌い終わった後の、みんなで喜びを分かち合った瞬間を忘れることはできません。その後行われた体育の部のクラス対抗長縄跳びでは、厳しい残暑と小雨の中、互いに声を掛け合いながら一丸となって跳び、クラスの団結をより深めることができました。

松籟祭が終わると、それぞれの夢を実現するために努力する日々が始まりました。入試や就職試験に向け、朝早くから夜遅くまで寸暇を惜しんで勉強した人、家政科展を成功させようと準備に打ちこんだ人、誰もが将来を切り開くために必死でした。自分の将来が想像できず、悩み苦しむこともありましたが、自分のやっていることが、本当に夢の実現に繋がっているのか分からなくなり、立ち止まってしまうこともありましたが。そんな時、一番の支えとなったのは仲間の存在です。ともに励まし合い、夢に向かって走り続ける仲間がいたから、自分の気持ちを奮い立たせ、走り続けることが出来ました。

私たちは、三年間という長い時間をこの高梁高校で共に過ごしました。この三年間の一日一日が充実し、輝いていたように思えるのは、ここで信頼できる仲間に出会えたからで

す。この仲間に出会えたからこそ、私たちはどんな状況も乗り越えることが出来ました。これからはそれぞれの道を進んでいくこととなりますが、ここで過ごした思い出を大切に、前へと歩いていきたいと思えます。

在校生の皆さん、皆さんの目には、私たちの姿がどのように映っていたでしょうか。時に不甲斐ない姿を見せてしまったこともあると思いますが、これまで頼りない私たちを支えてくれてありがとうございました。これから先、苦しい事や大変なことがあっても、決して諦めないでください。諦めずにやり続けた経験は必ず皆さんの力になります。よき仲間とともに、たくさんのことにチャレンジし続けてください。そして、高梁高校の良き伝統を受け継ぎ、更に発展させていってください。

先生方、今日まで私たちをご指導くださりありがとうございました。勉強面や生活面で悩んだとき、先生方は、親身になって話を聞いてくださり、優しくそして厳しく私たちを導いてくださいました。また、たくさんの時間を費やし、授業の準備や進路の資料を作成していただいたことは、私たちにとって大きな力となりました。先生方のご尽力に本当に感謝しています。三年間お世話になりました。

そしてこれまで私たちを温かく見守り、支え続けてくれた家族。私たちのために思って言ってくれた言葉を素直に受け止めることが出来ず、反抗したり、感情的になって強く当たったりしてしまったこともありました。それにもかかわらず、どんな時でも私たちに寄り添い、励まし、支え続けてくれたことに感謝の気持ちでいっぱいです。十八年間育ててくれて本当にありがとうございました。まだまだ未熟な私たちですが、これからも見守ってください。

最後になりましたが、私たちがこれまで成長してこられたのも皆様の支えがあったからだと思えます。これから私たちは、新たな未来へと羽ばたいていきます。その中で辛いこと、苦しいことがきっとたくさんあると思いますが、この高梁高校で過ごした三年間を心の糧にして、それぞれの夢に向かって進んでいきます。この誓いと皆様への感謝の気持ちを込めてお別れの言葉とさせていただきます。

令和二年 三月一日

卒業生代表